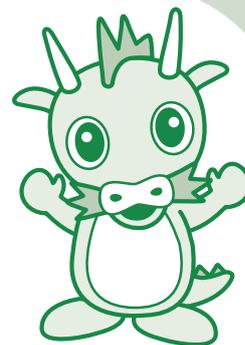


鐘の音

～かねのね～



vol.55
2026.3 発行



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。

パートナーシップさいたまからのお知らせ

第5回 パートナーシップさいたまフェスタ
「ジェンダー平等を実現しよう」
開催期間 令和8年1月18日(日)~2月1日(日)
基調講演
テーマ **ココロとからだホルモン**
講師 高尾 美穂さん (産婦人科医・医学博士・産業医)
人生100年時代を自身が望む時間としていくために、あらかじめ知っておくことで前向きに過ごせるような心と体の仕組みや不調への対策法についてお話いただきます。それぞれの「しあわせ」な心のあるり方について考えてみませんか？
【日時】 令和8年1月18日(日) 14:00~15:30
【場所】 さいたま市生涯学習総合センター 多目的ホール
さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ10階
【対象・定員】 さいたま市在住・在勤・在学の方 160名
事前申込制・参加費無料
【申込締切】 令和7年12月10日(水) 17:00まで(申込順)
【申込方法】 生涯学習情報システムよりお申込みください。
<https://gakushu.city.saitama.jp/search/search01.aspx?atydc=56826>
※申込資格が必要な方は、生涯学習情報システムの申込フォーム「申込資格の要否」からお知らせください。
【対象年齢・定員】 生後6か月から未就学児・5名
【託児料】 無料
【申込方法】 生涯学習情報システム(託児希望の方専用ページ)からお申込みください。
<https://gakushu.city.saitama.jp/search/search01.aspx?atydc=56825> (託児付き)
包括連携協定企業 大塚製薬株式会社による「女性の健康推進」に関するパネル展示を基調講演会場で開催。
基調講演以外のプログラム、お申込みは別途へ

令和8年1月18日(日)~2月1日(日)に
パートナーシップさいたまフェスタを開催しました！

基調講演

テーマ **ココロとからだホルモン**

講師 **高尾 美穂さん**(産婦人科医・医学博士・産業医)
女性のための統合ヘルスクリニック「イク表参道」副院長。
働く女性の産業医として内閣府男女共同参画局・人事局などで職員研修を担当。
長年ヨガを愛好し、多くのヨガインストラクターを指導。
YouTube「高尾美穂からのリアルボイス」では、女性のお悩みに答え、楽に生きられる考え方を配信している。

日時 **令和8年1月18日(日)14時~15時30分**

場所 **さいたま市生涯学習総合センター 多目的ホール**
さいたま市大宮区桜木町1-10-18
シーノ大宮センタープラザ10階

人生100年時代を自身が望む時間としていくために、あらかじめ知っておくことで前向きに過ごせるような心と体の仕組みや不調への対策法についてお話いただきました。会場は満席となり、それぞれの「しあわせ」な心のあるり方を考えるよい機会になりました。

また本市の包括連携協定企業の大塚製薬(株)による、女性の健康推進に関する展示等も行いました。

その他にも、
出展団体によるプログラムや、
今までのオンライン講座の再配信、人権啓発や男女共同参画推進に関する取組紹介等、多くのコンテンツを実施しました。



市民企画講座 **じぶんとからだ 性と生 vol.4**

ちいさな子どもと保護者のためのおしゃべり会

案内人:宇野ジェシ(Dulces代表理事) よしのあい(にじの緑代表理事) 小松さやか(性教育コンシェルジュ)

11月9日に「ちいさな子どもと保護者のためのおしゃべり会」に参加してきました。参加した親子に対して、案内人の皆さんは小さい子どもにわかりやすい話し方でゆっくり話してくださいとの聞きやすかったです。男女の身体の見え方や仕組みの違いを絵本を使って伝え、「包括的性教育」についての話が進んでいきます。

子どもから急に性的話が出て子どもに聞いてはいけないことと思わせないために、あわてず「すぐに答えられないからあとで一緒に調べようか」と笑顔で答える！

・男の子は父親に任せろ？男の子同士はあまり話したくない。自分で調べたいと聞くと間違った情報を信じる可能性がある。なるべく小さいうちから「性」の話をして、いつでも聞けるような環境づくりしておく。女性は生理が始まるとお互いに情報交換をするのでオープンに話せる。

・母親が生理用品を買ってきたときは男の子にも女の子にも月に一回生理が来る話をして、その時使う大事なものであることを伝える。

・自分を大事に、人を思いやり、他の人の体を触るときは同意が必要。など、細かくたくさん対応を説明してくださいました。最後の「同意が必要」は親子だからそ一人の人間同士として、自分の子どもであっても「頭触ってもいい？」「ハグしてもいい？」と同意を求めなければならないとわかりました。この習慣が多くの人に身につくことで「性暴力」や「犯罪」を防げるのではないかと感じ、ぜひみなさんにも実践してもらいたいと思いました。

私は孫も大きく実践できませぬ機会があったら伝えていきたいと思います。

(武田 礼子)



マザーズハローワーク大宮共同事業 **就職支援セミナー 自己分析**

色々あっても楽しく働けることは人生にとって大切です。しかし、育児や介護をしながら働くというのは、男女ともに言う程易しいことではありません。とくに、女性は家事やケア労働の負担が大きいため、現実もあります。安心して働くためには、条件が整わないと厳しいです。マザーズハローワークは再就職したい人が相談しながら、家庭と両立できる仕事を探せる場と言えます。

今は誰もが自分らしく生きたいと願う時代ではないでしょうか。セミナーではまずカードを使い、働く上で大切にしたいことを探し出し、自己分析します。また、好きなこと、やりたいこと、大切にしたいことを確認する一方、嫌いなこと、詰まらないこと、したくないことも大切な自分の意思と捉え、書き出し、自分軸を発見します。自分軸を持ち、揺るがない行動をする人は自分らしく生きられるということでしょう。

マザーズハローワークでは再就職の準備、両立しやすい仕事の情報を担当者が予約制で継続的に個別支援してくれます。託児もあります。仕事内容も多様化しており、また働き方も今はやりがいやキャリアよりも、条件第一にするなど、相談しながら条件設定を考えます。ウェブと併用もできます。不安な中、一人で悩まず、一歩踏み出して、相談してみませんか。

(Mみえこ)



※令和8年1月時点の予定です。

さいたま市議会2月定例会において、令和8年度予算の承認を得られましたら詳細を決定いたします。講座の詳細は決定次第、市報・チラシ・ホームページ等で周知いたします。

令和8年度講座のご案内

男女共同参画週間記念事業

「男女共同参画週間」

(6月23日～29日)の趣旨である「男女共同参画社会の形成の促進を図る」に沿って、講座を実施する予定です。

DV防止セミナー

「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日～25日)にちなみ、DV防止セミナーを実施する予定です。

国際男性デー記念講座

国際男性デー(11月19日)の趣旨である「男性・男児の健康に目を向け、ジェンダー平等を促す」に沿って、男性に焦点を当てた講座を実施する予定です。

性暴力防止セミナー

埼玉県と共催で性暴力の防止をテーマとした講座を実施する予定です。

この他にも、講座、ワークショップを予定しています！



○ジェンダー平等出前講座

さいたま市内の学校、事業所、団体等に御利用いただける出前講座です。5つのテーマからお選びいただけます。講師料を市が負担し、専門の講師を派遣いたします。詳細はホームページをご覧ください。



DV防止セミナー

「今日の安心」と「明日の選択肢」を届けるために

講師：徳田 玲亜 さん (NPO法人風テラス理事長、弁護士)



(麻生 水緒)

風俗業を選択してしまうのは自己責任でなく社会の構造に問題があると講師の徳田玲亜さんは言う。夫のDVで1年前に離婚、同居中から身体の不調が続く女性のケースが挙げられた。妻は平日パート勤務しながら子どもを一人で養育。養育費の支払いは半年前から停止しており生活費が捻出できず風俗業界に入ったという。徳田さんは「あなたがこの人の立場だったら、祖父母の立場だったらどうします？」と講座の中で問いかけた。キャリアがなく転職もできず、子どもがいるので正規雇用も難しい。実家の援助もない。子どもに習い事をさせたいので生活保護の申請もできない。こうした状況に陥ったのは本人の責任だけでなく、社会の問題に起因するという視点を入れるべきだと思った。

日本において風俗業は家族、住まい、正規雇用などから排除され、あるいは障がいによって社会から排除された人たちが行きつく場として機能している。現在風俗業に従事している人は約40万人。彼女たちの中には、風俗で働いていることを後ろめたく思ってしまう、自分の悩みを隠すうちにメンタルが崩壊してしまっただ人も少なくない。

風テラスは「自殺ハイリスク領域におけるゲートキーパー育成&アウトリーチ事業」を展開。彼女たちが気軽に相談でき、お互いに語れる場を作ることにより力を入れている。「困難を抱える人を支えるためのアクションを」と徳田さんは支援の必要性を強調した。

国際男性デー記念講座

パパだって悩んでいる！男性の育児

講師：平野 翔大 さん ((一社) Daddy Support協会 代表理事・産業界・産婦人科医 厚生労働省 共育プロジェクト 推進委員)



(豊田 真美)

さいたま市主催の国際男性デー記念講座「パパだって悩んでいる！男性の育児」を聴講した。この講座に興味を持ったのは、自分の職場でも男性の育児休暇が増えつつあるため。

政府主導で制度は整うも、現実的には育児休暇を申請するのが難しい職場も多いと思う。上司には言いづらいし、同僚の業務負担にも配慮しなければならぬ。子育ての先輩は周りにいるが、男性同士はオープンに相談しづらいだろう。そんな悩める新米パパたちに今回の講座は力強い味方だ。

内容は、1. 父親になるとは、2. 育児で大事なこと、3. 父親・母親のすれ違い、4. その防止策、5. 父子手帳の紹介で構成されていた。実践的な内容で夫婦一緒に聴くのがより効果的と思った。例えば、女性は妊娠前から体や心の変化に向き合い、赤ちゃんのための生活にシフトして行くものの、男性は急に父親の役割が始まること。よって前段階からの準備が必要なこと。経験がないH学必必要があるので、素直に人に頼ること。完璧を目指すのではなく、安全に重きを置くこと。子育てや家事を手伝うという姿勢ではなく、家庭を共同運営するという意識を持つことなど。父母双方の観点でこういう話が聞きたかったと感じてもらえる内容であり、もしも子育てについて夫婦間がぎくしゃくしているのなら、その解決の糸口も得られる。

共働き世帯の多くは、睡眠時間を削ることで子育ての時間を捻出しているそうだ。子育てに関わる人たちが心と生活にゆとりを感じ、自然にその喜びを享受できるような社会になって欲しいと切に思った。

男性にとっての男女共同参画

政治記者から米国在住駐在夫(駐夫)になったら

講師：小西 一禎 さん (千葉科学大学危機管理学部教授、ジャーナリスト、さいたま市男女共同参画推進協議会委員)



(福田 聖也)

「まさか妻がアメリカ転勤になるとは思いませんでした」。そう語るのは、元米国在住の駐夫でジャーナリストの小西一禎さんです。小西さんのパートナーの勤務先では、当時女性が海外に転勤する例はありませんでした。そのため、自分の妻が初めてのケースになるとは考えていなかったそうです。

アメリカへ移住後、小西さんは家族を支える専業主夫となりました。家族と過ごす時間が増えた一方で、仕事を離れたことにより「自分が何者かわからなくなつた」と振り返ります。社会との結びつきが薄れた感覚や喪失感は大きく、葛藤の日々を過ごしたといいます。いわゆる「アイデンティティ・クライシス」と呼ばれる状態です。

このような悩みは、駐夫に限ったものではありません。日本では労働時間の多くを男性が担い「家族を支えるべき」「男は強くあるべき」といった意識が根強く残っています。特に、子育てに関わりた方や家族との時間を大切にしたい男性にとって、こうした価値観は生きづらさにつながるものです。

小西さんは「男性だって弱音を吐いていい」と話します。毎年11月19日は「国際男性デー」です。普段なかなか本音を言えない方は、こうした日をきっかけに相談してみるのがいいでしょう。

小西さんは「男女がいかが合うのではなく、協力し合える社会になってほしい」と語ります。男性も男女共同参画に取り組みすることで、誰もが過ごしやすい社会につながっていくはずだと。

相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

●女性の悩み電話相談

女性の生き方、家族の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室 子ども家庭総合センター内	☎048-711-6650
月～金／10:00～20:00 土・日・祝休日／10:00～16:00 (年末年始を除く)	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)	

●男性の悩み電話相談

男性の生き方、家族の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-6101
第2・第4日曜日／13:00～16:00	

●女性のDV電話相談

☎048-762-3880
月～金／10:00～17:00(祝日・休日・年末年始を除く)

●女性の法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第2水曜日／13:00～15:50(30分単位)
実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第1・第3火曜日／13:00～15:50(30分単位)

●男性の法律相談(予約制)

弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第4水曜日／16:30～19:20(30分単位)

ホームページはコチラ▶



〈編集後記〉

最近よく昔のことを思い出します、特に両親、なぜか母のことがふと頭をよぎります。私が高齢者になり自分のしていることが「アッ母と同じことしてる」と気づくことが多いでしょうが…。若いつもりでいても年を重ねるごとに老いていきます。無理をせず、自分らしい老い方を探しながらこれからも学び続けたいと思います。元気でいたいと思う今日この頃です。(武田 礼子)

日本では、過労で精神障害認定を受けた女性の数が、6年連続男性を上回った。ドイツなどでは、フルタイムもパートも正規雇用であると読んだ。1975年、「女性の休日」運動により、性別による賃金格差を解消したアイスランドは現在、日本より労働時間が短く平均年収は日本よりずっと高く、国際競争力ランキング上位です。(Mみえ)

「風俗に手を染めた」こんな言葉のせいか、風俗業界を選択することは自己責任だと考えがちだ。風俗従事者への偏見は歪んだ社会を作ってしまう。風俗で働いていて支援に結び付きにくい人たちが、支援につながりやすくなると誰もが住み良い社会になるだろう。(麻生 水緒)

自宅前の国道にかかる歩道橋が取り壊しの工事に入ることになりました。久しぶりに渡ると階段のあちこちが錆びて下の道路が透けている部分もあり、老朽化の進行を目の当たりにしました。小中学校へと続くこの歩道橋は約50年前、私自身も日々通った橋。帰宅後は遊び場でもありました。生まれ変わる歩道橋との出会いも楽しみます。(豊田 真美)

講座を通じて、男性にとつての男女共同参画への視点が広がりました。将来パートナーが働き、自分が家を守る可能性もあります。そんな時苦しまないよう、家族との時間や相手への感謝を大切にできる自分でありたいと思いました。(福田 聖也)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。

郵便、電話、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.55 2026年3月1日

〈編集・発行〉

さいたま市男女共同参画推進センター(愛称:パートナーシップさいたま)

編集員/麻生水緒、武田礼子、豊田真美、福田聖也、Mみえ

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆

パートナーシップさいたま

検索

10・3月発行(年2回)

この広報誌は42,000部作成し、1部当たりの印刷経費は10円です。



JR大宮駅西口 徒歩8分

自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



さいたま市

